

授業科目名	社会福祉現場実習指導		担当教員名	山下 智佳子
科目区分	社会福祉主任任用資格に関する科目		施行規則に定める 科目区分 等	
必修・選択/単位数	選択 / 2単位 (180時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 前期/後期 (1-3期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所で児童福祉司として従事したほか、福祉事務所や社会福祉協議会での実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	社会福祉施設実習 (1年次春季) の事前指導を1年後期に、事後指導を2年前期に行う。また、機関実習 (2年次夏季) の事前指導を2年前期に、事後指導を2年後期に行う。 ※上記の演習に加えて、実習先のオリエンテーション、研修等に参加する必要がある。			
到達目標	1.社会福祉現場実習 (施設) を振り返り、自己課題を明らかにし、社会福祉現場実習 (機関) に臨むことができる 2.社会福祉現場実習 (機関) の意義について、理解する 3.社会福祉機関について、その目的や役割を理解する 4.社会福祉現場実習 (機関) にあたり、自らの課題が設定できる 5.実習後には、実習を振り返り、今後の学びにつなげる自己課題を考えることができる			
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著			
参考書・ 参考資料等	「図解でわかる ソーシャルワーク」鈴木孝典・鈴木裕介 編著 (中央法規)			
成績評価の方法	授業参加態度 : 30% / 課題シートの提出 (毎回) : 60% / 発表内容 : 10%			
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示します。事後指導については、毎回提出する課題シートで振り返りをしますが、「実習ハンドブック」と授業時に配付した資料で毎回復習しておきましょう。また、社会福祉現場実習 (施設) や教育実習・保育実習を振り返ること、自己課題を明らかにし、社会福祉現場実習 (機関) に活かしましょう。課題シートには質問事項も記載できるようにし、次の授業で回答します。 オフィスアワー : 授業終了後 (研究室)			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	オリエンテーション 事後指導 (施設①) リフレクションワーク			1
第2回	事後指導 (施設②) リフレクションワーク グループワーク			1
第3回	事後指導 (施設③) エピソード記録作成			1
第4回	事後指導 (施設④) エピソード記録 グループワーク			1
第5回	事後指導 (施設⑤) 自己評価			1
第6回	社会福祉現場実習 (機関) の意義と目的			2
第7回	社会福祉実施体制			3
第8回	社会福祉実施機関			3
第9回	児童相談所			3
第10回	保健所、保健センター			3
第11回	福祉事務所①生活保護			3
第12回	福祉事務所②五法			3
第13回	福祉事務所③五法			3
第14回	社会福祉協議会			3
第15回	相談援助①ソーシャルワーク			3

授業計画	授業の内容	到達目標番号
	授業の内容	到達目標番号
第16回	相談援助②ケースワークの原則	3
第17回	相談援助③ケースワークの展開	3
第18回	相談援助④ロールプレイ（その1）	3
第19回	相談援助⑤ロールプレイ（その2）	3
第20回	相談援助⑥ロールプレイ（その3）	3
第21回	社会福祉現場実習（機関）の課題設定①（事前設定）	4
第22回	社会福祉現場実習（機関）の記録の書き方（その1）	3,4
第23回	社会福祉現場実習（機関）の記録の書き方（その2）	3,4
第24回	社会福祉現場実習（機関）の心得	2,3,4
第25回	社会福祉現場実習（機関）の課題設定②（最終課題設定）	4
第26回	事後指導（機関①）リフレクションシート作成	5
第27回	事後指導（機関②）リフレクションシート グループワーク	5
第28回	事後指導（機関③）エピソード記録作成	5
第29回	事後指導（機関④）エピソード記録 グループワーク	5
第30回	事後指導（機関⑤）グループ発表 まとめ	5